

| | | | | | | | |
|---|-------|----------------------|----|-----------------------------------|-----------------------------------|---------|---|
| 事務事業名 | | 自殺対策緊急強化事業 | | <input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 | <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業 | | |
| 政策体系 | 政策名 | 0 2 安心が確保されたまちづくりの推進 | | 事業期間 | | | |
| | 施策名 | 0 8 生涯にわたる健康づくりの推進 | | 区分 | | | |
| | 基本事業名 | 0 1 健康づくり活動の推進 | | 単年度繰返 | | | |
| 根拠法令 | | 自殺対策基本法 | | ※期間欄に開始年度を記入 | | | |
| 所属 | 部課名 | 保健福祉部地域福祉課 | | 【開始年度】 | | | |
| | 課長名 | 藤原 秀樹 | | 平成21 年度～ | | | |
| | 係名 | 障害福祉係 | 電話 | 0192-27-3111 | | | |
| | 担当者 | 伊藤 志織 | 内線 | 186 | | | |
| 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) | | | | 事務事業区分 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 大船渡市自殺対策計画に基づき、関係機関と連携し、相談体制の整備及び人材の養成等に向けた取組を実施する。 岩手県の自殺率が全国で上位にあることから、パンフレットや講演会等で普及啓発活動を行い、自殺の予防を図る。 震災により、コミュニティが変化しているため、支え合う地域づくり、人材養成を実施する。 傾聴ボランティア団体に傾聴型訪問支援事業を委託し、抑うつ等の心のケアを必要とする人を支援する。 令和元年度に事業の見直しを行い、グリーンケア・サロン、こころのフォーラムを、従来の被災者心の健康づくり事業から移行し、自殺対策緊急強化事業として実施した。 グリーンケア・サロンを令和3年度で終了し、令和4年度から、地域公民館等を会場に心の健康増進と自殺対策のための出前講座を実施する。 | | | | E 一般 | | | |
| 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) | | | | 全体計画(※期間限定複数年度のみ) | | | |
| | | | | 総投入量 (千円) | 事業費 | 国庫支出金 | |
| | | | | | 財源内訳 | 都道府県支出金 | |
| | | | | | | 地方債 | |
| | | | | | | その他 | |
| | | | | | | 一般財源 | |
| | | | | | | 事業費計(A) | 0 |
| | | | | 人件費 | 正規職員従事人数 | | |
| | | | | | 延べ業務時間 | | |
| | | | | | 人件費計(B) | 0 | |
| | | | | | トータルコスト(A)+(B) | 0 | |

| | | |
|--|---------------------------|----|
| 1 現状把握の部(DO) | | |
| (1) 事務事業の目的と指標 | | |
| ① 手段(主な活動) | ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) | |
| 前年度実績(前年度に行った主な活動) | 名称 | 単位 |
| ゲートキーパー養成研修、こころのフォーラム、こころの出前講座等を開催し、普及啓発事業を実施した。 | ア ゲートキーパー養成講座等の開催 | 回 |
| 今年度計画(今年度に計画している主な活動) | イ こころのフォーラムの開催 | 回 |
| 前年度の事業の継続 第2次大船渡市自殺対策計画策定に向けた事務 | ウ こころの出前講座の開催 | 回 |
| ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 | ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) | |
| 市民全般 | 名称 | 単位 |
| | カ ゲートキーパー養成講座の参加人数 | 人 |
| | キ こころのフォーラムの参加人数 | 人 |
| | ク こころの出前講座の参加人数 | 人 |
| ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) | ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) | |
| 自殺予防についての知識を普及啓発することで市民の理解を促し、相談体制の整備及び人材の養成等により、自殺対策の強化を図る。 | 名称 | 単位 |
| | サ 自殺者数(人口動態統計) | 人 |
| ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) | シ | |
| 市民の心の健康の向上と、見守り支え合う地域づくりにより自殺の予防につなげる。 | ス | |

| | | | | | | | | | |
|-----------------|-----|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| (2) 総事業費・指標等の推移 | | 年度 | 2年度(実績) | 3年度(実績) | 4年度(実績) | 5年度(目標) | 6年度(目標) | 7年度(目標) | |
| 投入量 | 事業費 | 単位 | | | | | | | |
| | | 国庫支出金 | 千円 | 211 | 169 | 163 | 290 | 290 | 290 |
| | | 都道府県支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 人件費 | 一般財源 | 千円 | 169 | 148 | 135 | 239 | 239 | 239 |
| | | 事業費計(A) | 千円 | 380 | 317 | 298 | 529 | 529 | 529 |
| | | 正規職員従事人数 | 人 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 延べ業務時間 | 時間 | 700 | 1,600 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 |
| | | 人件費計(B) | 千円 | 2,800 | 6,400 | 8,000 | 8,000 | 8,000 | 8,000 |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 3,180 | 6,717 | 8,298 | 8,529 | 8,529 | 8,529 | |
| ⑤活動指標 | ア | 回 | 4 | 4 | 9 | 10 | 10 | 10 | |
| | イ | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | ウ | 回 | - | - | 8 | 7 | 7 | 7 | |
| ⑥対象指標 | カ | 人 | 123 | 89 | 281 | 200 | 200 | 200 | |
| | キ | 人 | 35 | 89 | 36 | 70 | 70 | 70 | |
| | ク | 人 | - | - | 107 | 100 | 100 | 100 | |
| ⑦成果指標 | サ | 人 | 5 | - | - | - | - | - | |
| | シ | | | | | | | | |
| | ス | | | | | | | | |

| | | | |
|--------|------|-------|------------|
| 事務事業ID | 1407 | 事務事業名 | 自殺対策緊急強化事業 |
|--------|------|-------|------------|

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 岩手県の自殺死亡率が全国的にも高位にあり、自殺対策が喫緊の課題であることから、平成21年度に岩手県の基金により、自殺予防の対策を進めることとなった。平成28年度から地域自殺対策強化交付金として実施している。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 岩手県の自殺死亡率は、全国平均より高い状況が続いている。
 平成28年の改正自殺対策基本法により、全ての市町村に「地域自殺対策計画」の策定が義務づけられ、平成30年度「大船渡市自殺対策計画」を策定した。
 令和3年の岩手県の自殺死亡率は、前年に比べ減少率が全国1位となったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後も自殺のリスクが高まる可能性があることから、関係機関からの情報収集と支援関係者との連携を強化していく必要がある。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 震災から10年以上が経過しているが、阪神淡路大震災等の教訓からも心のケアの継続は必要である。新型コロナウイルス感染症等の影響による新たな自殺リスクも懸念され、国、県からは自殺対策の更なる推進を求められていることから、関係機関と連携した取り組みが重要とされている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

| | | |
|-----------------|--------------------|--|
| 目的 妥当性 評価 | ① 政策体系との整合性 | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ うつ病等の精神疾患、震災関連、社会経済状況、新型コロナウイルス感染症の影響等による自殺を防ぐため、関係機関と連携を図り事業を行うことは、安心して生活できるまちづくりにも繋がるため、政策体系に結びついている。 |
| | ② 公共関与の妥当性 | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 自殺対策は社会的な問題であり、住民に一番身近である市町村が、地域の特徴を踏まえ対策を講じる必要があるため、市が行うことは妥当である。 |
| | ③ 対象・意図の妥当性 | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 自殺は誰にでも起こり得る心の危機であり、自殺対策は生きることの包括的支援として全市民を対象に推進する必要がある。 |
| 有効性 評価 | ④ 成果の向上余地 | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ゲートキーパーの養成や相談窓口の拡充、市民の心の健康への理解度を上げる取り組み等により、自殺者数の減少が見込まれる。 |
| | ⑤ 廃止・休止の成果への影響 | <input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 誰も自殺に追い込まれることのない地域の実現のため、自殺予防への取り組みの継続は必要である。 |
| 効率性 評価 | ⑥ 事業費の削減余地 | <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 啓発活動や人材養成等に係る事業費が必要である。 |
| | ⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 | <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 震災から10年以上が経過しているが、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、更なる自殺のリスクが懸念されること、相談対応件数も増えている現状から、業務時間は増加している。 |
| 公平性 評価 | ⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市民全体を対象としている。 |

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

| (1) 改革改善の方向性 | (2) 改革・改善による期待成果 | (3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------------------------------|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|--|---|----|--|--|---|----|--|---|---|---|
| 2 改革改善(縮小・統合含む) | <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | | ● | 維持 | | | × | 低下 | | × | × | 東日本大震災の被災地であることに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、今後も継続した予防対策が求められる。 自殺対策計画の推進のため、関係機関・団体との連携を図り、全庁的な取組と、地域ぐるみでの自殺対策への取組が必要である。 |
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

4 課長等意見

| | |
|-----------------|---|
| (1) 今後の方向性 | (2) 全体総括・今後の改革改善の内容 |
| 2 改革改善(縮小・統合含む) | 市自殺対策計画に基づき高齢者や障害者、生活困窮者、被災者などを対象とすることから、他の事業(被災者心の健康づくり事業)との統合を含めた見直しを検討する必要がある。 |